

## 桜美林幼稚園自己点検・自己評価の結果について

2010年6月

桜美林幼稚園では、神様の御守りの中で、そして安定した豊かな環境のもとで、これからも幼子を育む業に取り組みたいと願い、これまでの歩みをつぶさに振り返り、検証する為、2009年度末に自己点検・自己評価を実施致しました。ここに改めてその結果をご報告させていただきます。

教職員一人ひとりの自己点検、そして保護者の皆様から寄せられた評価結果を見ますと、まだまだ改善すべき課題が多くあると判断しています。園としてはこれら課題の一つひとつについて、今後、具体的な解決策を考え実行して参る所存です。そして、園児をはじめ、保護者の皆様、地域の皆様、その他関係する全ての皆様に愛され、より一層信頼していただける園として、これからも立ち続けることができますことを願いつつ、不断の努力を続けて参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

尚、今回の評価は、公正な視点で評価を行うために、専門調査機関が作成した「幼稚園における学校評価」の設問を活用し、経営者と職員がそれぞれ自己評価を行ったうえで、外部機関の厳正な検証のもとで結果をとりまとめました。また、これに合わせて保護者の方々にアンケート調査を行い、保護者の視点から課題を洗い出すことも行いました。財務状況は、毎年度取りまとめる「桜美林学園事業報告書」から2009年度の桜美林幼稚園に関する部分を抜粋したものです。

### 【実施内容】

保護者アンケート	実施日	2010年1月13日～2010年1月27日
教職員自己評価	実施日	2009年12月18日～2010年1月12日
経営層自己評価	実施日	2010年1月20日
自己評価設問根拠資料		株式会社学研R&C「幼稚園における学校評価」
評価結果検証		株式会社トランストラクチャ

## 1. 自己評価

自己評価においては、各設問に対してA～Dの評語を付して評価を行っています。それぞれの評語の定義は次のとおりです。

- A・・・ 目標が十分に達成されている。
- B・・・ 目標がほぼ達成されている。
- C・・・ 重要な点で成果が上がっていない。
- D・・・ 全体として成果が上がっていない。

### ① 教育課程・指導

教育課程・指導の領域においては、園の方針を個々の教職員に周知徹底し、どんなときにもこれに立ち返って仕事を進められるような「仕組み」を構築するとともに、個別の園児の立場に立ち、保護者のご意見も十分に取り入れた、肌理細かい計画を立てることに留意していきます。

園が目指していることを明確化・周知している。	B
教育課程の編成・実施の考え方については教職員間において共通理解をしている。	A
子供の生活の幅を広げるための行事(園内外含む)に取り組んでいる。	A
教育週数や1日の教育時間については、計画を策定し、かつ柔軟な対応を行っている。	A
年間の指導計画などについては、作成・評価見直しを行っている。	B
幼稚園と小学校の円滑な連携に関する工夫を行っている。	B
子供が園の生活を楽しくめるように遊具や用具をそろえている。	B
学級経営は幼児に適した環境に整備されている。	A
幼稚園教育要領の内容に沿って幼児の発達に即した指導を行っている(環境)。	A
幼稚園教育要領の内容に沿って幼児の発達に即した指導を行っている(信頼関係の構築)。	A
幼稚園教育要領の内容に沿って幼児の発達に即した指導を行っている(主体的活動の尊重)。	A
幼稚園教育要領の内容に沿って幼児の発達に即した指導を行っている(遊びを通しての総合的指導)。	A
幼稚園教育要領の内容に沿って幼児の発達に即した指導を行っている(発達の特性に即した指導)。	B
幼稚園教育要領の5領域に沿った内容になっている(健康・人間関係・環境・言葉・表現)。	A

### ② 保健管理

保健管理の領域では、特に大きな問題点はありませんでした。これからも継続してしっかりと管理を行っていくことが重要だと考えています。

保健計画を策定し、適切に行っている。	A
環境衛生の管理を適切に行っている。	A
日常の健康観察や、疾病予防のための取組、健康診断などを行っている。	A

### ③ 安全管理

安全管理については強い注意を払い、問題なく実施されています。ただし、非常勤を含めた教職員の全員に、今後、さらに徹底した教育訓練を施していくことが必要だと考えています。

事故など、緊急事態が起こったときの対応が整備されている。	A
法定の安全計画や防災計画などを作成し、実施している。	A
危機管理に関する手順書やマニュアルを作成し、活用している。	B

### ④ 組織運営

組織運営については、教職員の権限の範囲をより明確に示すとともに、一つひとつの事項について報告・連絡・相談が確実に為されるような施策を実行していきます。

園長など管理者は、教育目標などの達成に向けてリーダーシップを発揮し、教職員全体をリードしている。	A
園運営が適切に機能するなど、明確な運営・責任体制の整備を行っている。	B
園が管理する資金の予算執行に関する計画、執行・決算・監査などについては透明性があり、明瞭に行われている。	A
管理者は、教職員の健康状態や就業のようすを把握したうえで適切な指導を行っている。	A
各種文書や個人情報などについては、適切に管理を行っている。	A

### ⑤ 研修（資質向上の取組み）

この領域については、教職員の一人ひとりについて個別に能力を向上させるような仕組みや評価の制度を取り入れていくことが必要だと考えています。また、園児への接し方について標準化が必ずしも進んでいませんが、幼子の性質は千差万別でありますから、やみくもなマニュアル化を行うのではなく、業務に関する基本的な姿勢などの基準書を充実していくことを主眼に置いていこうと考えています。

研修の実施と参加	B
日常の振り返りと課題の明確化	A
採用～人事研修や育成	B
子供への接し方など保育にかかわる業務の標準化	D
「いじめ」の予防や再発防止に対して具体的に取り組んでいる。	A
性差に関して、先入観による役割分業意識を植え付けないように配慮している。	A

### ⑥ 教育目標・園の評価

教育目標・園の評価については、概ね問題はないと考えています。自己評価を今年度初めて実施しましたので、これを継続していくことが課題であると考えています。

園独自の教育目標や計画の策定に当たり、自己評価と連動させるなど有効に活用している。	A
保護者の意見や要望を把握し、対応を行っている。	B

### ⑦ 情報提供

園の情報は、行政や関係諸機関に対して適宜報告、並びに公開しております。また、保護者の皆様へも必要な情報をご提供しております。この分野については特段の問題なく実行できているものと考えます。自己評価の結果は今回と同様に継続して公開していく所存です。

幼稚園に関する情報は公開し、入園する前に説明を行っている。	A
園のようすを公開し、理解を深めている。	A

### ⑧ 保護者・地域住民との関係

保護者・地域住民の皆様との関係は良好に保つことができていると判断しています。これからもご家庭と園とが両輪となって幼子を育む業に取り組むことができますよう、良好な信頼関係を今後さらに強固なものにして参りたいと願っています。

評議員やPTAなど、園関係者による懇談会を定期的に行っている。	A
---------------------------------	---

### ⑨ 子育て支援

子育て支援については、今後ますます増加すると思われる子育ての悩みに的確に対応できるよう、教職員の基礎的な知識の向上や大学、専門機関との連携を強めていく所存です。

地域における保護者の実情や要望による子育て支援ニーズを把握している。	B
教職員はカウンセリングの基礎を理解し、相談対応などを行っている。	A

### ⑩ 預かり保育

預かり保育については、昨年度、規定を一部見直し、皆様にご利用いただけやすい体制を整えたところです。今後、幼子の成長に過度の負担がかからない範囲で、更に充実した体制を構築していこうと考えています。

保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育事業を実施している。	B
預かり保育事業を行うにあたり、その体制を整備している。	B

### ⑪ 教育環境整備

子供にとって良い環境を作ろうとする取組は鋭意継続しております。今後も変わらず改善を図っていく所存です。

施設や設備については、子供にとって最良の環境となるよう工夫している。	A
------------------------------------	---

## 2. 保護者評価

保護者の皆様からの評価を拝見すると、概ね満足をいただいているものと思われませんが、細かく精査していくとまだまだ改善すべき課題があります。今後これら課題を解決すべく真摯に取り組み、さらに高い評価を得るべく努力を積み重ねる所存です。

具体的には、要望や不満などを園に対してご指摘いただきやすい体制を取ること、行事日程の設定などで保護者の皆様の状況を十分に斟酌することなどが今後の主要な課題であると考えています。

預かり保育については、昨年12月に規則を変更いたしましたので、本アンケート実施時に比べればご利用いただく件数も増え、よりご満足いただける状態になっているのではと判断しています。

問No	設問	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	評点
		①	②	③	④	⑤(①-③)
問1	園内は安全対策が十分とられていると思いますか	100	8	0	2	100
問2	保育中の発熱やケガなどの処置、保護者への連絡対応については十分ですか	98	9	1	2	97
問3	施設内で感染症が発生した際には、必要に応じてその状況について連絡がありましたか	94	14	2	0	92
問4	園からのたよりやその他の方法で、日々のお子さんの様子や気持ちを知ることができますか	79	28	3	0	76
問5	園からのたよりやその他の方法で、指導計画などの内容を知ることができますか？	103	6	1	0	102
問6	要望や不満は園に対して言いやすいですか	66	34	10	0	56
問7	園は要望や不満などにきちんと対応していますか	87	18	1	4	86
問8	行事日程の設定は、保護者の状況に十分配慮されていますか	60	44	4	2	56
問9	保育参観、保育参加、保護者会などは有意義なものとなっていますか	98	11	1	0	97
問10	園運営の基本的な考え方(理念・方針・教育目標など)について、説明を受けたことがありますか	105	5	0	0	105
問11	障がいのある子どもなどの特別支援教育について、保護者会などで説明がありましたか	24	31	44	11	-20
問12	特別支援教育の園内の体制について、説明がありましたか	14	34	45	17	-31
問13	行事などを通して、地域住民との交流を図っていると思いますか	78	22	8	2	70
問14	園は地域と強力をして、交通安全、地震、火災、防犯などについて、安全を高める努力をしていますか	85	20	3	2	82
問15	幼稚園で自己評価が行われていることを知っていますか	54	5	46	5	8
問16	子育てなどについて、家庭と園に信頼関係があると思いますか	97	10	1	2	96
問17	保護者が大切に考えていることについて、教職員は話を聞く姿勢がありますか	102	6	0	2	102
問18	教職員はあなたやあなたの子どもに関するプライバシー(秘密)を守っていますか	94	7	1	8	93
問19	お子さんは園で大切にされていると思いますか	105	3	0	2	105
問20	担当の教職員はお子さんの良いところや個性を認めていますか	97	10	1	2	96
問21	お子さんの気持ちや子育てなどについて、教職員一人ひとりと話したり、相談することができますか	91	16	1	2	90
問22	園の生活において、身近な自然や社会と十分にかかわっていますか	104	6	0	0	104
問23	園では、お子さんの発達にあわせた豊かな感性を育む活動・あそび等が行われていますか	101	8	1	0	100
問24	園には、お子さんの発達や意欲を促すような道具・教材が十分に用意されていますか	101	8	1	0	100
問25	園には、お子さんの発達や意欲を促すような図書・絵本がありますか	99	11	0	0	99
問26	園では、集団生活を通し、社会性やルールを守る態度を育てようとしていますか	107	2	0	1	107
問27	園では、あいさつなど、基本的な生活習慣が身につくように指導していますか	107	2	0	1	107
問28	園の生活において、自分のことは自分でするなど、自立への指導がなされていると思いますか	108	2	0	0	108
問29	園での行事は楽しく、子どもの成長に役立っているものになっていますか	109	1	0	0	109
問30	お子さんが園の中で落ち着いて過ごせる雰囲気がありますか	107	3	0	0	107
問31	お子さんは各園するのを楽しみにし、充実した園生活を過ごしていますか	107	2	1	0	106
問32	給食やお弁当を楽しみながら食べていると思いますか	108	1	0	1	108
問33	アレルギーの対応について説明を受けましたか(給食を提供している園のみ)	(給食を提供していません)				
問34	入園に際し、基本的な考え方(理念・方針・教育目標など)の説明がありましたか	106	4	0	0	106
問35	入園に際し、園から受けた説明はわかりやすかったですか	102	7	1	0	101
問36	あなたは、入園の前に施設を見学しましたか	106	2	2	0	104
問37	入園前の問合せや見学の際は快く対応してくれましたか	106	3	0	1	106
問38	あなたは「預かり保育」を利用していますか	16	6	87	1	-71
問39	安心して預けられるような体制になっていますか	46	39	10	15	36
問40	現在利用している園を総合的にみて、どのように感じていますか	104	4	0	2	104

### 3. 園の状況

#### 【財務の状況】

2009年度は、帰属収入合計 90,471,732 円に対し、消費支出合計 125,982,869 円を計上いたしました。帰属収入とは、保育料、入園金、国庫からの補助金など、昨年度1年間に本園が受け取った金額の合計です。また、消費支出とは、教職員の人件費、消耗品費など、昨年度1年間に本園が支払った、本園を運営していくのに不可欠なさまざまな支出の合計です。差し引き 35,511,137 円の支出超過となりました。なお、帰属収入のうち 558,424 円を、将来の発展に備えるための基本金に組み入れました。

財政状況については開園以来厳しい状況が続いております。しかし、桜美林学園として、財政健全化に向けての最大の努力を行いつつも、幼子を育む業は、神様から託された大切な使命であると信じ、園の基本的な保育方針はこれからも大切に守り、質の高い保育を継続して参る所存です。

#### 桜美林幼稚園 消費収支内訳表

2009年4月1日から2010年3月31日まで

#### 【消費収入の部】

科目	金額	内訳
保育料等	62,162,100	
保育料		45,274,100
入園金		7,475,000
施設設備資金		1,150,000
教育充実費		8,263,000
手数料	360,000	
入学検定料		360,000
寄付金	165,160	
特別寄付金		0
一般寄付金		160,000
現物寄付金		5,160
補助金	26,205,400	
国庫補助金		0
地方公共団体補助金		26,205,400
資産運用収入	370,068	
第3号基本金引当資産運用収入		9,163
受取利息・配当金		170,862
施設設備利用料		190,043
資産売却差額	178,039	
有価証券売却差額		0
車両売却差額		178,039
事業収入	704,000	
雑収入	326,965	
帰属収入合計	90,471,732	
基本金組入額	558,424	
消費収入の部合計	89,913,308	

【消費支出の部】

科目	金額	内訳
人件費	101,708,471	
教員人件費		75,200,152
職員人件費		17,048,051
役員報酬		0
退職金		9,460,268
教育研究費	16,087,061	
消耗品費		2,373,211
光熱水費		1,540,020
旅費交通費		48,620
奨学費		0
減価償却費		513,018
通信運搬費		337,437
印刷製本費		210,873
出版物費		176,494
修繕費		2,394,997
建物取り壊し費		0
損害保険料		90,975
賃借料		270,073
公租公課		230
諸会費		150,125
会議費		122
報酬・委託・手数料		3,148,042
広報費		0
雑費		215,662
管理経費	8,092,837	
消耗品費		806,215
光熱水費		60,115
旅費交通費		105,567
減価償却費		113,211
通信運搬費		70,408
印刷製本費		183,001
出版物費		2,664
修繕費		381,882
損害保険料		162,717
賃借料		11,139
公租公課		406,527
諸会費		24,987
会議費		1,717
報酬・委託・手数料		5,563,266
広報費		69,502
公共施設寄付金		0
雑費		59,717
福利費		31,215
渉外費		38,987
補助活動支出		0
借入金等利息	94,500	
借入金利息		94,500
消費支出の部合計	125,982,869	

## 【2009年度のその他の状況】

### (1) 園児数

入園児数：56名（男児27名 女児29名） 2009年4月8日入園

在園児数：156名（男児77名 女児79名） 2009年5月1日現在

年長組：56名（男児26名 女児30名）

年中組：59名（男児33名 女児26名）

年少組：41名（男児18名 女児23名）

卒園児数：56名（男児26名 女児30名） 2010年3月18日卒園

### (2) 進学先

24小学校〔公立：20校(51名) 私立：4校(5名)] ( )内は進学人数

東京都 11校(34名)

①忠生第一2名 ②忠生第三2名 ③図師3名 ④小山中央1名 ⑤小山田5名 ⑥  
小山5名 ⑦小山田南10名 ⑧七国山2名 ⑨町田第四1名 ⑩鎌水1名 ⑪小山  
が丘2名

神奈川県 9校(17名)

①鹿島台1名 ②大野北5名 ③淵野辺2名 ④大野1名 ⑤向陽3名  
⑥当麻田1名 ⑦弥栄2名 ⑧富士見1名 ⑨横山1名

(私立) 4校(5名)

①相模女子大学小学部2名 ②桐光学園1名 ③聖セシリア1名 ④森村学園初等部1  
名

### (3) 教職員の状況

園長：1名 教頭：1名

専任教諭：6名 特任教諭：1名 非常勤教諭：5名

事務・用務職員(パート)：4名 バス運転・管理(委託)：2名

2009年4月採用専任教諭1名

2010年3月退職特任教諭1名

### (4) 年間教育日数

教育日数：205日 教育週数：44週

一学期：4月7日～7月25日

二学期：9月1日～12月18日

三学期：1月8日～3月19日

※ 夏期保育 7/23 8/25～8/27 計4日間

※ 学校教育法第37条に年間教育週数は39週を下ってはならないと定められています。

(5) 一日の教育時間

全日：月曜日、火曜日、木曜日、金曜日 半日：水曜日

全日：1班：8:30～13:50 2班：9:30～14:50

半日：1班：8:30～11:20 2班：9:30～12:20

(6) 年間目標

キリスト教精神を礎として教育の業を展開するにあたり、各学年は以下の通り年間目標を定める。

年少：園児が神様に会い、神様に信頼する子どもとして育つ

年中：神様が一緒にいてくださることを喜べる子どもになる

年長：神様に感謝し、自ら隣人の為に優しさを届けることのできる子どもに育つ

(7) 主な年間行事

4月：進級式、入園式、イースター礼拝、親子遠足

5月：保育参観、母の日礼拝、避難引取り訓練

6月：父の日合同礼拝、家庭訪問、花の日礼拝、花配り、父親の為の講演会、  
公開保育Ⅰ、田植え

7月：年長組一泊保育(大地沢青少年センター)、夕涼み会、プール

8月：私立幼稚園教職員研修会、夏期保育、防犯訓練、プール

9月：災害時引取り訓練、昆虫観察会、クッキー作り、バザー、公開保育Ⅱ

10月：運動会、芋掘り、避難訓練、秋の遠足、稲刈り

11月：交通安全教室、福祉施設訪問、収穫感謝礼拝、野菜配り、親子ふれあいの会、  
入園準備会

12月：クリスマス礼拝・聖誕劇

1月：餅つき、絵本読み聞かせの会、個人面談、入園準備会、創立者召天記念礼拝

2月：どうぶつ村、豆まき、入園準備会、母親の為の講習会

3月：生活発表会、顕微鏡観察会、お別れ遠足、卒園式、修了式、入園準備会

毎月最後の金曜日：当月度誕生会

毎月第一水曜日もしくは土曜日：父母の会

(8) 本園の教育内容の特徴

①キリスト教保育

各クラスでは登園時、降園時には必ず全員で祈りをもってその日を始め、その日を  
終えています。また教会暦に従ってイースター、母の日、花の日、クリスマス等には園全体で礼拝を守り、神様に信頼を寄せ、また共にいて下さることを喜び、感謝  
できる幼子の心を育てています。

## ②バランスの取れた保育

- ・通常のクラス単位での保育ばかりでなく、各学期 4 回、全体を 4 つのグループに分け、異年齢の園児が共に過ごす縦割り保育を実践しています。
- ・年長組の体育は、学園の体育館で大学の非常勤講師による授業を展開し、個々の運動の力を豊に育む教育を実践しています。また英語も各学年ネイティブスピーカーによるレッスンを週一回実施しています。
- ・昆虫観察会、顕微鏡観察会においても大学の教授の協力を得て、専門家の指導の下に園児たちが学べる機会を提供しています。
- ・学園所有の里山である「復活の丘」では、木登りをしたり、伸びやかに自然の中で駆け回る中で、命の尊さと、自然の大切さを学び、それらに対する正しい理解と態度を養う機会を持つことができました。
- ・「お仕事の部屋」と名付け、モンテッソーリ教育を通常保育に取り入れ、園児が自発的に「自分一人でするように手伝って」を言える環境を保育者が整え、園児が好きなことに集中して取り組む中で、個々の才能を豊かに伸ばせる教育を実践しています。
- ・大学教授の指導の下、園庭で遊ぶ時間には、園児は基本的に素足にわらじを履いて遊ぶ。このことにより、土踏まずの発達を促し集中力を養う。また健康管理の一環として、1 年中を通し薄着・裸足励行を促し、抵抗力のある強い身体を保てるように配慮しています。

## ③保護者との関わり

幼稚園における育みは、それぞれのご家庭と協力して一つの命を育む業であり、毎月の父母の会や保護者が関わる行事では、園長はじめ全教諭たちがそれぞれの立場で働きかけコミュニケーションのパイプを築く努力をしています。またなるべくこまめにここの家庭と連絡を取り合い、信頼関係を保ちながら連携を深め、幼子の成長を共通理解をもって見守ることができるよう努力を続けました。

## (9) 2009 年度の主な出来事

毎年度共通する行事・教育の関する取り組みの他に、2009 年度は特に以下の出来事を報告致します。

### ①教頭の交代

長年教頭職を務められた柿澤美代子先生に代わり、2009 年度より富田恵美子先生が教頭に着任致しました。

### ②新型インフルエンザ対応

幼稚園では9月10日に一人目の園児が罹患し、12月末までに合計50名の園児が罹患しました。学園保健室と連絡を密にすると共に、感染拡大を防ぐため、年長2クラス(はと組2日間・ひつじ組3日間)、年中1クラス(さくら組3日間)をクラス閉鎖しました。

### ③中学・高校・大学との連携の深化

桜美林大学の保育専修コースに学ぶ学生たちの実践の場として、また大学院在学の学生の食育に関する研究調査に、そしてリベラルアーツ学群の学生の少子化問題に関する研究調査に協力する等、2009年度はこれまで以上に大学・大学院と密接な協力関係を築き、在学する学生たちにとっても良き学び・研究の場を提供することができました。

また将来幼稚園教諭、保育士を目指す桜美林高校に在学する生徒4名を受入れ、実際の保育を経験してもらい、高校生の学びの場としても生かされ、学園附属の幼稚園としての存在意義が深まったと考えています。

### ④花育体験教室の実施

桜美林大学生涯学習センターでフラワーアレンジメントの講座を開講されておられる佐々木華香先生を講師に招き、園児たちにも生花を使ったアレンジメント講座を開いていただきました。花の命をいかに大切にするか、また色とりどりの花々をバランス良く配置することによって、一つの花が生かされたり、調和する美しさを学ぶことができました。

### ⑤特別支援プログラムの実施

毎年度実施している年4回の入園準備会に加え、既に入園が内定している園児の中から、入園に備えて、少しでも園生活にスムーズにとけ込めるように支援が望ましいと判断した内定児を対象に入園前に3回、入園に向けて少しでも集団生活にスムーズにとけ込めるように、特別支援プログラムを実施しました。

### ⑥自己評価・自己点検の実施

学校教育法施行規則の改正により、幼稚園においても自己評価・自己点検に努めることとされたのを受け、これを良き機会として受け止め、積極的に保育の改善、改革ができる機会と捉えて、自己評価・自己点検を実施しました。また実施にあたっては教諭たちの理解をより深める為に園内での研修を実施した上で取り組み、改革・改善を進めるための仕組みを整えました。

### ⑦預かり保育の拡充

これまではたとえ枠組みはあっても実際にはなかなか利用し辛く、利用されるご家

庭は少なかったため、朝8時から夕方5時までであれば自由に園児を預けられるように規程を改定し改善を行いました。実際に利用者が増え、保護者に対する支援の仕組みが少しでも改善できたのではと判断しています。

⑧桃井和馬氏講演会の開催

これまで世界 140 カ国以上もの戦渦の中、紛争地域取材し、「紛争」「地球環境」などを基軸に活動しているフォトジャーナリストの桃井和馬氏を講師に招き、現在の我々が未来の為に、何を残し、何を大切に伝えて行かなくてはならないかを、実際の映像をとおして、保護者に語っていただきました。

⑨バスの入れ替え

幼稚園で所有している園バス2台のうち1台が東京都の排ガス規制により、使用できなくなった為、新規に1台を購入しました。

以 上